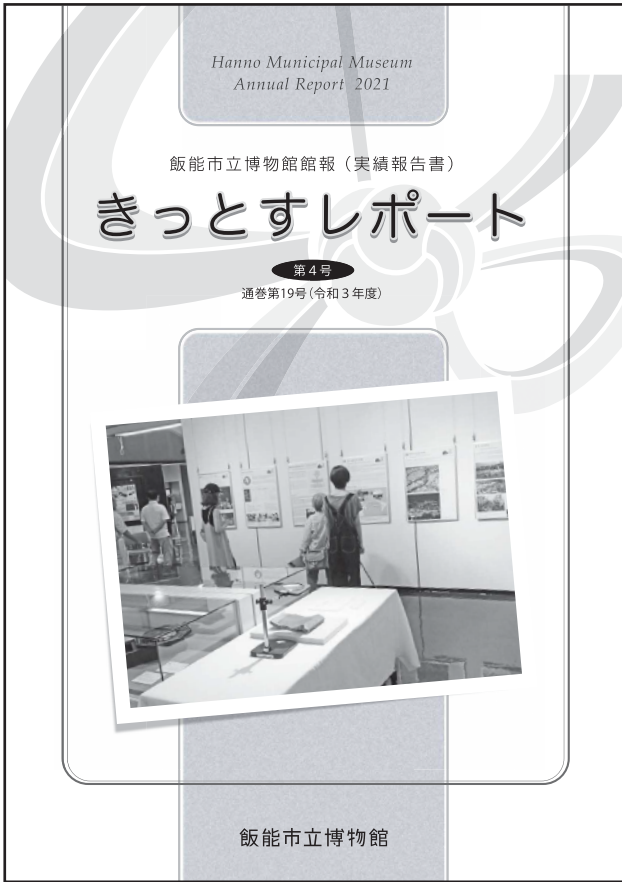


『きっとすレポート』第4号



令和5年3月発行、56ページ
700円(税込み)

当館の館報は、**博物館活動の総体**を多くのみなさんに知っていただくため発行しています。

通巻で19冊目となる本号は、**令和3(2021)**年度の実績報告書です。

その年度を代表する事業から選んでいる表紙の写真は、東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い、予定より1年遅れて令和3年度実施となった**ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展**の見学風景です。

本号の特徴

・前号に引き続き、コロナ禍によって影響を受けた当館の運営についてまとめました。(15p)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和3年度は以下のような運営上の影響がありました。

- ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展
 - ・「被爆体験証言会」(8/7・8)の中止
 - ・ヒロシマピースボランティアの派遣見送り
- 小学3年生社会科学習支援
 - ・市民学芸員の対応中止(1/22～)
- 地域・生活福祉課臨時特別給付金対策室への職員派遣(1～3月)

————— コロナ禍における当館の運営について —————

前年度(令和2年度)は、4月7日に新型コロナウイルス感染症等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発令されたことを受けて、4月8日から5月31日まで休館した。その後新型コロナウイルス感染症は収束の兆しが見え、当該年度が始まる直前の3月22日には、いわゆる第3波による緊急事態宣言が解除されたばかりであった。

そうした中でスタートした令和3年度は、前年6月24日以来の新型コロナウイルス感染症拡大防止策をとりながらの運営を継続した。事業への影響といえば、学習研修室の利用人数が定員の約半分の15名までとなっているため、特別展の関連講座などは基本的に市民会館の広い会議室を会場とし、それにより定員を30名まで増やすようにした。また自然観察会など屋外の事業は、参加人数を15名までとした。いずれも参加者には、受付で検

温とアルコール消毒をお願いした。そのほか、開館日には毎日午前と午後それぞれ1回ずつ各部屋のドアノブや把手、図書室、学習研修室の椅子や机(使用があった日のみ)などの消毒を行った。

そして8月2日、埼玉県など1府3県に対し緊急事態宣言が発令された(解除は9月30日)。その時はちょうどヒロシマ・ナガサキ原爆資料展が開演されていたが、そのために8月7日・8日に予定されていた「被爆体験証言会」が急遽中止となった。この事業は、実際に被爆された方を派遣していたのでその体験を語るのもであり、被爆者の高齢化とともにその機会が減少しているなかで、被爆地から遠く離れた本市にとっては貴重な機会であっただけに非常に残念であった。またヒロシマピースボランティアの派遣も見送られることとなった。

さらに年明けの1月21日に埼玉県全域がまん延防止等重点措置区域に追加された。例年1月中旬から2月上旬にかけては、小学3年生が社会科学習のため来館し、その対応を市民学芸員と一緒に行うことになっていた。しかしそれを受けて、高齢者の比較的多い市民学芸員に感染が広がることが懸念されたため、1月22日に当館の職員のみでの対応とすることに急遽変更した。

そのほか当該年度は、本市における新型コロナウイルスワクチン接種の業務支援(5月～7月、9～10月)や感染者への物資配達支援の電話受付などに従事した。また1月から3月末にかけては、職員1名が地域・生活福祉課内に新たに設けられた臨時特別給付金対策室に兼務となり、その間の約3ヶ月、1名職員の状況で館を運営せざるを得なくなった。



エントランスの検温・消毒器



自然観察の受付(アルコール消毒や検温型体温計がある)。



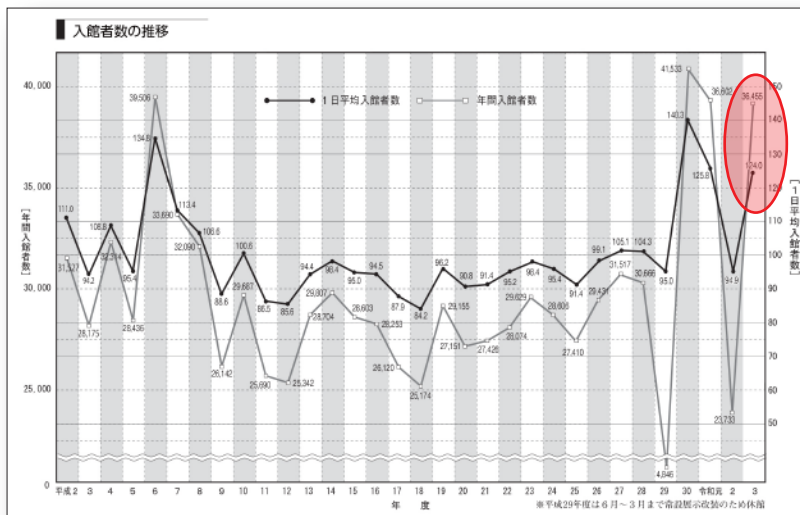
学習研修室利用後の職員によるアルコール消毒

15

令和3年度の主な実績

- ①当該年度の入館者数は、コロナ禍にも関わらず 36,455 人を記録しました。これまでで **4 番目**の多さでした。
→68p

これは、大河ドラマ「青天を衝け」で飯能戦争が登場したことで、ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展が開催されたことによるものです。



- ②大河ドラマ「青天を衝け」放映に関連し、多くの事業支援を行いました。→28p

当館では、大河ドラマ「青天を衝け」の展開に合わせて、史料に基づきそれに関連した情報を SNS で 24 回発信しました。また、飯能戦争をテーマとして平成 23 年度に開催した特別展「飯能炎上」の図録（第 3 版）を増刷しました。
そのほか、観光・エコツーリズム推進課、情報戦略課、奥むさし飯能観光協会と連携し、右表にあるような大河ドラマに関連する事業を支援しました。

◆令和3年度事業支援実績（大河ドラマ関連）
（期間）令和3年3月9日（火）～令和4年1月31日（月）

対象	内容
情報戦略課	○広報はんのう大河ドラマ関連特集記事執筆 3/1号(飯能と渋沢栄一)、5/1号(飯能戦争)、 9/1号(渋沢平九郎と飯能戦争)
観光・エコツーリズム推進課	○エコツアー 「歴史入門 渋沢一族が要となった飯能戦争の地を巡る」の実施 4/23(金)・7/15(木) ○飯能・越生をめぐる平九郎スタンプラリーの実施 11/1(月)～1/31(月)
市民会館	○「歌劇 幕臣・渋沢平九郎」上演協力 12/11(土)
(一社) 奥むさし飯能観光協会	○バナー「渋沢家ゆかりの地飯能」掲出 ・東飯能駅 7/19(月)～11/30(火) ・飯能駅 8/5(木)～10/8(金) ○「イクメンすぎる幕木の士「渋沢平九郎」を堪能する一日」 ツアーの実施 12/11(土)
NHK	○大河ドラマ「青天を衝け」紀行撮影立会 6/1(火) ○さいたま放送局パネル展「大河ドラマ「青天を衝け」」(エントランスホール) 10/14(木)～11/7(日)・11/26(金)～12/12(日) ※のべ36日間
毎日新聞	○特集記事「渋沢栄一を歩く」(25) 取材協力
西武鉄道株式会社	○「ウォーキング・ハイキング」協力 12/10(金)・12/12(日)

- ③講師派遣件数は、これまでで最高の年間 **31 件**を実施しました！→49p

…これは大河ドラマ「青天を衝け」の放映に伴い、渋沢栄一関係の出前講座の依頼が増えたためと考えられますが、主催者側で感染防止対策として定員を少なく設定しているため、受講者数はコロナ禍前には及ばませんでした。

